



南産発第2331号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

南小国町長 河津 修司



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別添のとおり回答しますのでよろしくお願いします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

熊本県阿蘇郡南小国町

我が国の道路行政を考えた場合、地域毎の道路の設置目的、用途等を十分に検討する必要があると考えられる。道路の設置目的としては、日常の生活に密着したもの及び観光等娯楽目的としたものは分けて検討する必要があり公共交通網が整備されていない地域では、従来の特定財源を利用した生活関連道路の整備は人が生きる為になくてはならないものである。逆に公共交通網が十分に整備されている地域に於いての道路網の整備は事業費の高騰等が生じ、本来道路整備を必要としている地域の事業推進に影を投げかけている。このことから公共交通網が十分に整備されている地域に於いては、公共交通を利用することとし地域の道路整備と離れた考えが必要ではないだろうか。

今回「道路特定財源に関する基本方針」が閣議決定されたことにより

- 1、必要とされる道路は着実に整備する。
- 1、道路特定財源諸税については地方に偏在する納税者の理解が得られるよう、また市町村の道路財源には過去の道路整備の起債の償還も含まれることを十分考慮し、前年度のレベルを低下させることがないように措置すること。
- 1、地方道路整備交付金については、市町村道路の整備にとって誠に有効な制度であることから同制度の拡充を強く求める等要望をお願いするものである。

②－１ 地域の現状と抱える課題

熊本県阿蘇郡南小国町

○現状

本町に於ける交通網の整備は、当地が山間地であること、急激な人口の増加等が見込まれないこと等により公共交通の整備は十分に出来ない状況にあるこのような中、市町村道の整備が生活を支えていく上での重要な政策となっている。また、以前に整備した橋梁・路面舗装等についても補修修理の時期が来ており住民の安全性を考えた場合、早急な改修を迫られている現状である。

現在、地籍調査を実施中であるが、県等から移譲された現況の道路敷きに於いて未登記の箇所がかなりあり早急な対応が必要となっている。

○課題

地方道路整備臨時交付金の拡充・町村道の舗装修理等街で対処可能な方法の検討

地方が抱える危険橋梁等に対する補助の確立

町村に財産移譲等を行った物件の事後処理に対する交付税措置

生活幹線道路のユニバーサルデザイン化

②—2 地域の目指すべき将来像

熊本県阿蘇郡南小国町

本町は、「日本で最も美しい村」連合に加入しており街づくりに十分活かしていく考えであるが、高齢者率も年々上昇し景観等を維持して行くにもとても大変な状況にある。この中で、市町村道の生活密接道路を早期に完成させ町民が安心して通行でき、歩行者の安全が十分図れる道路の整備が望まれるところである。

本町には、全国的に有名な温泉地の黒川温泉があり町外から多くの方々にご利用頂いているが、道路整備は遅れており休日ともなれば車が渋滞し交通事故等もしばしば発生している。温泉地への県外からの入り込みは燃料の高騰により若干の落ち込みを見せているが、幹線道路の整備が進み安全で早く目的地に行けるとなれば、より多くの来客を期待できる。

又、中山間地であるため、道路幅員も狭く、急カーブ・急勾配・視距も確保できない道路が多数を占めている。このような状況で、緊急な人命に関わる事故や病気の人の搬送にも困難を要している。

このような状況を早急に解消できるように、道路特定財源の確保に努めて欲しい。